

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	16 東京都台東区立特別養護老人ホーム千束	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地]	台東区千束3-28-13
(2)	[規模]	延べ床面積 6,733.87㎡のうち1,763.54㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階のうち3、4階の部分駐車場(共用)、居室、浴室(機械浴、一般)、静養室、医務室など
(3)	[委託事業]	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄・入浴援助))、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等
(3)	[自主事業]	なし
(4)	[利用者]	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間]	通年、24時間
(6)	[人員体制]	21名 (内 訳) 施設長(兼務1)、医師(嘱託3)、生活相談員(1)、介護支援専門員(1)、管理栄養士(兼務1)、介護士(常勤12、短2)、看護師(2)、その他(アルバイト・派遣14) (前年増減) 介護士(常勤-5、短-1)、その他(アルバイト・派遣+7)

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料(指定管理料)	61,839,570	61,839,570	41,248,016	41,248,016
	利用料金収入	126,558,000	127,940,745	128,443,000	126,969,242
	その他収入(サービス区分間繰入金収入)	15,134,430	220,721	13,761,984	10,343,847
	計	203,532,000	190,001,036	183,453,000	178,561,105
支出	人件費	131,079,000	140,923,618	125,376,000	134,656,348
	光熱水費	6,365,000	5,007,860	6,697,000	5,241,741
	維持管理費(委託料・賃借料)	25,924,000	21,636,543	25,265,000	23,603,165
	修繕費	1,400,000	999,999	1,415,000	322,332
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(ファイナンス・リース債務の返済支出)	38,764,000	31,244,610	24,700,000	31,218,631
	計	203,532,000	199,812,630	183,453,000	195,042,217
収支			-9,811,594		-16,481,112

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
入所定員(ショートステイ)	人	31	31	31	31

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用率(特養+ショート)	%	99	98.1	98.4	97.7
利用者数(特養+ショート)	人	11,230	11,135	11,136	11,059

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

人件費は前年度と比較し抑えることができたが、予算を超過しており、また特養利用者数の減に伴い、利用料金収入等減収となり、マイナス収支となっている。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関連法令の順守、事業計画書や収支予算書等の報告書提出等、適切な運営がされている。また、安全確保対応マニュアル・事故発生防止マニュアル等を整備し職員に周知する等、適正な管理運営がなされている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	利用率は対前年度から若干減少したが、他の区立特養と比較して最も高い利用率である。また、地域の祭りへの参加等も継続して実施しており、地域に密着した区立特養として、積極的に取り組んでいる。総合的に見て、適切な運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物内を定期的に巡回し危険個所の早期発見に努め、備品についても台帳を基に管理し、異常箇所があった場合は速やかに修繕を行うなど、適正に施設の維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	利用者アンケートの施設に対する満足度は概ね良好であり、また、入居者個々の介助状況表に基づく介助方法の教育訓練を継続的に実施する等、サービス向上の取組がなされている。福祉施設として、総合的に見て適正な運営がなされている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	昨年度と比べて人件費は抑えることができたが、光熱水費及び維持管理費が増となり、また利用料金収入等が減収となったため、結果としてマイナス収支となっている。より効率的な施設運営が必要である。
(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (95 / 110点)	<p>【所見】 全体的に見て、収支の面等において課題はあるが、地域の行事や祭りへの参加等、地域に積極的に参加する取り組みが継続的に行われ、利用者満足度調査においても高い評価を得る等、要介護者の入居施設として概ね適正な運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 非常勤職員の増員により、人件費が予算を超過しており、また利用料金収入の減収により、マイナス収支の幅が前年度を上回っている。今後、高いサービス水準を維持しながら、事業者として収支が均衡するような施設の効率的な運営を行い、収支状況の改善を図る必要がある。</p>